



このテキストの特色と使い方

○ このテキストは、国立・一流私立中学受験をめざすみなさんに、より高い学力を身につけてもらい、自信を持って受験に臨んでもらうために作られました。

○ 問題は、国立・一流私立中学の実入試問題からよりすぐったものを編集してあります。

○ A は記号選択問題せんたく中心です。B は記述問題きじゆ中心で、より長い文章を読む力をつけるように工夫しています。

*設問の都合上、問題を改めたり一部削除さくじよしたりしています。

もくじ

10	論説文(2)	47
9	随筆(2)	42
8	説明文(2)	37
7	物語文(2)	32
6	長文(1) 論説文	27
5	詩	22
4	論説文(1)	17
3	随筆(1)	12
2	説明文(1)	7
1	物語文(1)	1

20	入試対策直前テスト(2)	95
19	入試対策直前テスト(1)	91
18	長文(4) 随筆	86
17	長文(3) 物語文	80
16	論説文(3)	75
15	随筆(3)	70
14	説明文(3)	66
13	物語文(3)	61
12	長文(2) 説明文	57
11	短歌・俳句	52

本文

本文

A ① 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

2

説明文(1)

得点

① /40

② /60

計

/100

本文

問一 — 線①「里山」の説明として適当なものを次から二つ選び、それぞれ記号で答えなさい。
(順不同、各3点)

- ア 人間が自然を保護することで美しい「里山」が誕生する。
- イ 「里山」はそこで暮らす人々の暮らしに結びついている。
- ウ 「里山」での暮らしは人間にとって便利なものである。
- エ 「里山」は適度に人の手が加わることで維持される。
- オ 「里山」には手つかずの豊かな自然が広がっている。

問二 — 線②「そこはいわゆる……ぼくは思っている」とありますが、このようにしてできた「里山」は人間にとってどのような場所になりますか。文章中から十七字でぬき出しなさい。
(5点)

問三 — 線③に共通してあてはまることを文章中からぬき出しなさい。
(5点)

問四 — 線④「里山の『荒廃』」の原因の一つは何だと述べられていますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
(5点)

- ア 人間が里山の自然に手を加えたこと。
- イ 里山で暮らす人が多くなったこと。
- ウ 里山を訪れる人が規制されている場所に立ち入ったこと。
- エ 里山へ人が立ち入らなくなったこと。

問五 — 線⑤「そこ」とは、何を指していますか。文章中からぬき出しなさい。(5点)

問六 [イ]にあてはまることばを文章中からぬき出しなさい。また、[ア]にあてはまる、[イ]と対をなす漢字二字の熟語を考えて書きなさい。(各3点)

ア
イ

問七 ⑥にあてはまることばを文章中からぬき出しなさい。(5点)

問八 — 線⑦「可欠」の□にあてはまる漢字を書きなさい。(3点)

可決

B② 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

本文

本文

本文

10

論説文
(2)

A ① 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

本文

本文

得点

①

/40

②

/60

計

/100

本文

問一 —— 線①「何百年にもわたって……折り合い」とありますが、この説明として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。(6点)

- ア 自然を改造することで人間に便利な世の中を作ろうとする。
- イ あるがままの自然を尊重し人間の手を加えないようにする。
- ウ 豊かな自然を題材とする短歌や俳句の伝統を守ろうとする。
- エ 自然を大切にすることでその恵み^{めぐみ}を生活に生かそうとする。

問二 [a] にあてはまることばを次から選び、記号で答えなさい。

ア 重要文化財として指定する

イ そのまま生活の中で存続させる

ウ 形を変えて利用し続ける

エ 多くの人々に見学してもらう

(6点)

問三 —— 線②「それはそういうものだと思う」から読みとれる筆者の

気持ちに最も近いものを次から選び、記号で答えなさい。

(6点)

ア 時間に追われる現代人にとって、パンは合理的な食べ物だ。

イ もっと時間をかけなければ、米のおいしさは理解できない。

ウ 若者には若者の感覚があり、それは認めざるをえない。

エ 食事のことなどに気を使うのは、若者らしくない。

問四 [b] にあてはまることばを次から選び、記号で答えなさい。

(6点)

ア その時になって、うまい米がないと言っても遅いのである

イ 若いうちにいろいろな味を経験することが必要なのである

ウ 年をとると、昔のことがなつかしく思い出されるのである

エ 訓練をきらう現代人には、そんなことは不可能なのである

問五 次の文のうち、この文章の内容と合っているものを選び、記号で答えなさい。(8点)

- ア ヨーロッパの文明と比較して日本の文明は非合理的である。
- イ 山の中の質素な生活の体験が今の若者には必要である。
- ウ 工業化した現在では自然を征服することも不可能ではない。
- エ 米作りをやめることは日本文化の根を絶つことを意味する。

問六 この文章を内容のうえから大きく三つに分けるとすると、次のどの分け方が最も適当ですか。記号で答えなさい。(8点)

- ア ①～②／③～⑬／⑭～⑯
- イ ①～④／⑤～⑪／⑫～⑯
- ウ ①～⑤／⑥～⑩／⑪～⑯
- エ ①～⑦／⑧～⑬／⑭～⑯

B② 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

本文

本文

本文

問一——線①「下火になった」、③「気の置けない」、⑤「やりきれない」の意味を文中の《 》《 》のことばを使い、書きなさい。(各6点)

⑤	①
	③

問二 — 線②「はにかみ」、④「衆をたのむ」と同じ内容を表している表現を、「明治大正史世相編」の中から、②は三字で、④は十五字以内で、それぞれぬき出しなさい。
(各6点)

②

④

問三 — 線⑥「大都会の繁栄」はどのような状態を出現させましたか。それが述べられている部分を文章中から五十字以内でさがし、はじめと終わりの五字をぬき出しなさい。
(完答6点)

はじめ
終わり

問四 — 線⑦「さういう」、⑧「そのように」が指している内容をそれぞれ十五字以内で書きなさい。
(各6点)

⑦

⑧

問五 次の文章は、「にらめっこ」がすたってきた理由について述べたものです。() 1～7に適当なことばをあてはめて、文章を完成させなさい。二つの() 2・3はそれぞれ同じことばがあてはまります。1～4・7は文章中のことばがそのままあてはまります。
(完答12点)

・昔は(1)生活をしてきたため、(2)の人に会うのは(3)のいることでした。その(3)を養う手段として「にらめっこ」という遊びが生まれてきたのですが、(4)の成立という社会のしくみの変化によって、今までの生活ができなくなりまし
た。(2)の人の付き合いは(5)な体験ではなくて、日常生活の中で、だれも決して(6)ことのできない、生活に必要なものとなってしまうので、「にらめっこ」の(7)が意味を失ってきたのです。

7	5	3	1
	6	4	2

15

随筆
(3)

A① 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

本文

本文

問一 —— 線①「手に余る」とよく似た意味のことを次から一つ選び、
記号で答えなさい。
(4点)

- ア 手ぐすね引く イ 手をそめる
ウ 手が足りない エ 手におえない
オ 手加減する カ 手がかかる

得点

① /40

② /60

計

/100

問二 — 線②について、「ありと君」の、妹に対する「自分の不満を解消できる方法」とはどうすることですか。文章中のことばを使って、二十字以内で書きなさい。(6点)

問三 — 線③「きつと」はどの部分にかかりますか。次から適当なものの一つを選び、記号で答えなさい。(4点)

- ア 小さな妹が イ 生まれて ウ きて
- エ まだあまり オ 日が カ たって
- キ いないのだ

問四 — 線④「心配し」とありますが、だれが心配するのですか。文章中のことばで答えなさい。(4点)

問五 — 線⑤「わが上半身をすっかりあずけてよりかかっている」とありますが、これは妹のどのような様子を表していますか。次から適当なものを選び、記号で答えなさい。(4点)

- ア 顔 イ 胸 ウ かた
- エ 手 オ ひざ カ 足

問六 — 線⑤「わが上半身をすっかりあずけてよりかかっている」とありますが、これは妹のどのような様子を表していますか。次から適当なものを選び、記号で答えなさい。(4点)

- ア 兄に言いまかされて、いいなりになっている様子。
- イ 傷ついて泣いて、兄に自分を支配されている様子。
- ウ 傷つけられても、兄を頼り切っている様子。
- エ いつも可愛がられて、兄を信頼している様子。

問七 — 線⑥「b」～「d」にあてはまることばを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。(完答4点)

- ア よそへやって
- イ も一度はるちゃんのこと生んで
- ウ ちゃんとしまって

b
c
d

問八 — 線⑥「幼い兄妹」とありますが、この場合の「妹」とはだれのことですか。文章中のことばで答えなさい。(4点)

問九 この文章からうかがえる「ありと君」の気持ちを表した次の文のうち、正しいものには○、まちがっているものには×をつけなさい。(完答6点)

- ア 妹なんか大きらいだ、ぼくのお母さんを取ってしまったもの。
- イ ぼくはお兄ちゃん、妹はお乳のにおいがしてかわいいよ。
- ウ ぼくも「抱っこして」とお母さんに抱いてもらえてうれしい。
- エ ぼくはおとなのユーモラスなからかいにひどく腹が立った。
- オ 『母の友』に詩を書いて送ったら「こどものひろば」に出たのでうれしかった。

ア
イ
ウ
エ
オ

B② 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

本文

本文

本文

問一 — 線①「目の中に入れても痛くないほど」とありますが、この表現で、筆者は何を強調しているのですか。説明しなさい。(4点)

問二 — 線②「行きくれ」とありますが、「行きくれる」の意味として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。(4点)

- ア 行き止まりになる。 イ 道が暗くて見えなくなる。
ウ 道に迷って分からなくなる。

問三 — 線③「ちんがりちんがり灯が見えた」とありますが、(各4点)
(1) ただ「灯が見えた」というだけの言い方に比べて、この言い方からは、どのような様子が伝わってきますか。説明しなさい。

(2) その灯を見て、旅の僧はどう思ったと考えられますか。説明しなさい。

問四 — 線④「それは……あたんなさい」と言ったときに、婆の思っていたことを三つ書きなさい。(順不同、各2点)

--	--	--

問五 — 線⑤「念をおして」とありますが、「念をおす」の意味を書きなさい。(4点)

問六 母の「おとぎばなし」の中身を次の五つのことからについてまとめなさい。(①・②各6点、他各2点、⑤順不同、完答)

㉞ 季節

㉟ ところ

㉞ 出てくる人物

㉟ あらすじ

㊱ 話の山場

問七 — 線⑥「どんなにたくさん鬼婆の話を知ったことだろう」の意

味として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

(4点)

ア 何人も鬼婆がたくさん出てくる話を聞いた。

イ 数多くの種類の鬼婆の話を聞いた。

ウ 鬼婆の出てくる同じ話を何回も何回も聞いた。

問八 — 線⑦「ねじれた……なりなさんなよ」から、「母」は筆者の「私」

に対して、どのような人になるように願っていたことがわかりますか。

説明しなさい。

(6点)

問九 — 線⑧「それ」を知ったとき、「身ぶるいするほど母が恋しく」

なったのは「私」がどのような気持ちになったからだと考えられますか。説明しなさい。

(6点)

2 説明文(1)

(7~11P)

A① 問一イ・エ 問二人間が親しみと安らぎをおぼえる場所

問三働きかけ 問四エ 問五人工的環境 問六ア安全 イ危険

問七せめぎあい 問八不

解説

B② 問一 a 人間の存在 b 環境 c ヒツジ 問二ウ 問三 1 つま

りほか 2 (初め) これはオー (終わり) であろう。 問四(例)

種族の繁殖力や行動能力や抵抗力が低下する 問五(その)生活場
所を奪った

解説

10 論説文(2)

A ① 問一エ 問二イ 問三イ 問四ア 問五エ 問六エ

解説

(47～51P)

B ② 問一(例)①すたれた ③心安い ⑤気苦労だ 問二②伏し目

④群れの力は一人よりも強く 問三(初め)人間は見知(終わり)ならない。 問四⑦(例)こどものけんかの教育的な(こどもを社会的に成長させる) ⑧(例)練習をもって意志力を養うこと(意志力を養うというように) 問五1気の置けない 2初対面 3勇氣(意志力・意志の力) 4大都会 5(例)非日常的(特別・特殊) 6(例)さける 7教育的機能

解説

15

随筆ずいひつ
(3)

(70～74 P)

A ①

問一エ 問二(例)妹をまたお母さんのおなかにしまうこと 問

三キ 問四おとな 問五オ 問六ウ 問七bウ cア dイ 問

八わたし 問九ア× イ○ ウ× エ× オ×

解説

B ②

問一(例)母が「私」をものすごくかわいがってくれたこと。 問

二ウ 問三(例)小さな灯が遠くで弱々しく光っている様子。(2)

人家が見つかってよかったと思った。 問四(例)しめた、えものが

来たぞ。／逃がしてなるものか。／早くえものにありつきたい。

問五(例)もう一度注意して確かめる。 問六㉞秋 ㉟安達ヶ原 ㊱

鬼婆(老婆・婆)・僧(お坊さん・坊さん) ㊲(例)道に迷った旅の

僧が老婆の住む一軒のあばら家を見つけ、泊めてもらうことにな

った。しかし、その老婆は旅人を殺して食う鬼婆であることがわ

かり、僧は逃げ出し、仏力によって追って来た鬼婆からのがれる

ことができた。 ㊳(例)鬼婆が大鎌をふりかざして僧を追いかける

ところ。 問七ウ 問八(例)正直な心で誠実に生き、警察につかま

るような悪いことをしたり不正を働いたりしない人。 問九(例)町

育ちの母が山里の村へ嫁ぐ苦勞に加え、二度目の結婚でさらに大

きな苦勞を強いられたことを思い、母をいじらしく思う気持ち。

解説